

小学校4年国語 「新聞を作ろう」

(1) 実践の概要

① 単元について

本単元は、小学校学習指導要領に示された「内容」のうち「〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」を受けて設定されたものである。よって、単元の目標は以下のように設定されている。

- (1) 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2) イ
- (2) 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ア
- (3) 進んで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考え、学習の見通しをもって学級新聞を作ろうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

② 本単元で考えられる1人1台端末の利活用について

本単元の目標を効果的に達成するために、実践においては相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができるように新聞作りをデジタル的にアプローチした。

a) ロイロノート「カード機能」

何度でも文章を書き直すことが容易になるため、推敲して自分の考えを再構築することが期待される。

b) ロイロノート「提出箱」

単元の途中で記事の下書きを読み合い、教師や友達がアドバイスをを行うことで、よりよい記事にしようとする意識をもって推敲し、新聞を仕上げられることが期待される。

c) ロイロノート「資料箱」

資料箱に予め必要なカードを用意しておくことで、教材をすぐに児童に配付することが可能となる。また、実際の新聞記事や参考資料をアップロードして利用し、児童自身が作成した新聞記事と比較することで新聞記事の書き方を振り返ることが期待される。

d) ロイロノート「アンケート機能」

アンケート機能の使い方を紹介し、誰もが利用できるように練習しておくことで、新聞記事の内容を価値付ける資料として使うことが期待される。

(2) 活動の実際

指導書には単元計画が例示されているが、単元の各所において1人1台端末を利活用するよう計画を見直し、実践を行った。なお、1人1台端末の利活用については、単元の指導と評価の計画(全12時間)に①～⑦として明記する。

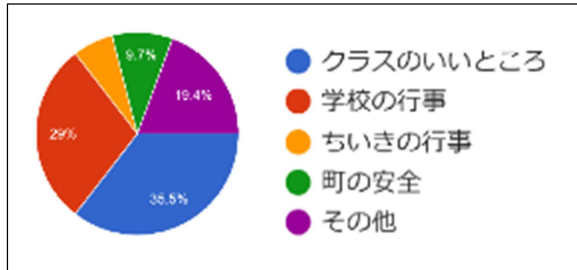
時	主な学習活動	評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2	○新聞を作って誰に何を伝えるのか等の見通しをもつと共に、新聞の特徴を知る。 ① Forms アンケートの利用 ② ロイロノート クラゲチャートの利用		○新聞の特徴について、ノートにまとめている。	
3	○新聞の作り方の手順や取材方法について確かめる。 ③ ロイロノート アンケートの説明	○必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の仕方を理解している。		
4 5	○グループで取材を行い、取材をしたことの中から記事を書くときに使うものを選ぶ。 ④ ロイロノート アンケートの利用		○取材したことから、相手や目的を意識して情報を取捨選択し、伝えたいことを明確にしている。	
6	○伝えたいことの掲載順を決め、割付を考える。 ⑤ ロイロノート ダイヤモンドランキングの利用		○伝えたいことの掲載順を決めて記事を構成し、目的に応じた割付を考えている。	
7 8	○記事の下書きをし、伝える相手を意識した見出しを考える。 ⑥ ロイロノート カード機能の利用		○書く内容を明確にして記事の下書きしている。 ○伝える相手を意識して、相手を引きつける見出しを考えている。	○進んで相手や目的を意識して、書くことを選び、構成を考えて、新聞を作ろうとしている。
9 10 11	○記事の下書きを読み合い、推敲して、清書をして新聞を仕上げる。 ⑦ ロイロノート 提出箱・共有の利用		○主述の関係や常体・敬体の統一などに気を付けて推敲し、新聞を仕上げている。	
12	○完成した新聞を読み合い、感想を伝え合う。 ○学習を振り返る。			○単元を通して考えたことを振り返り、学習や生活に生かそうとしている。

① 「主な学習活動時①～③」での1人1台端末の利活用

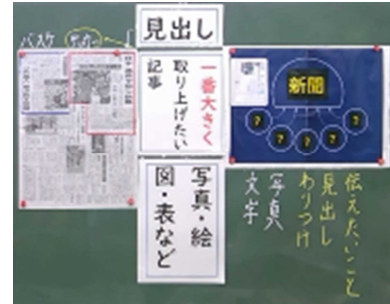
新聞記事を通して、何を伝えるのかを明確にするために、「Forms」のアンケート機能を利用した。アンケートでは、クラスのよいところ、学校の行事についての回答が多かったため、クラスの紹介をテーマにした新聞記事を書くことにした。また、授業参観が近かったため、A4サイズの紙面を作成し、教室の背面に掲示することを決めた。

【Forms での質問】 今回の新聞記事を通して、何を伝えたいですか。

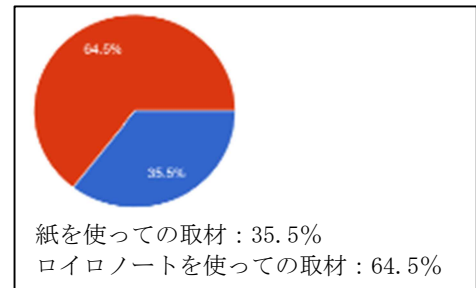
クラスのいいところ: 35.5%
 学校の行事: 29%
 ↓
「クラスの出来事」をテーマにし
 た新聞作りを行うことが決定!!



新聞に必要な項目について実際の新聞と見比べ、シンキングツール(クラゲチャート)を使って整理した。子どもからは新聞の構成要素は、①伝えたいこと、②見出し、③割付け、④文字、⑤写真であると意見が出たため、これからの新聞作りの土台を考えることができた。

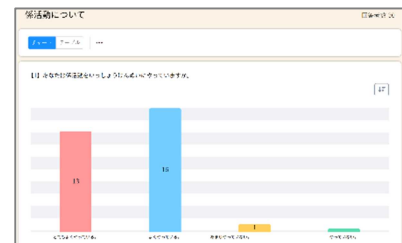


新聞の作り方の手順や取材方法について確かめ、紙面を利用した取材かロイロノートのアンケート機能を用いた取材を行うのかを選択させた。ロイロノートの利用希望者が多かったため、全員で利用の仕方を確認した。この活動が、子どもの実態に応じた取材活動をスムーズに進め、意欲的な活動につながった。

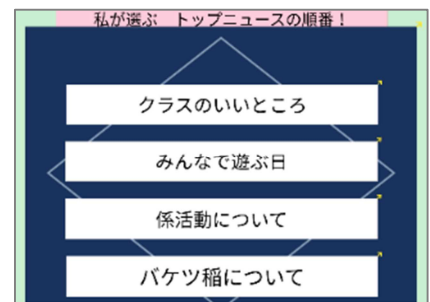


② 「主な学習活動時④～⑤まで」の1人1台端末の利活用

ロイロノートのアンケート機能を使うことにより、自分が記事にしたいことを中心に情報の取捨選択を行うことができた。また、事実を客観的に伝えるための材料として有効活用することができた。



自分が書きたいクラスの紹介をロイロノートのカード機能とシンキングツール(ダイヤモンドランキング)を使って整理し、新聞記事として取り上げたい内容(見出しの大きさ)に優先順位を付けた。この活動の際には、優先順位を付けるのにカードを何度も移動し、試行錯誤しながら決定をしていた。子どもにとっては、これまでの活動やアンケートの利用を加味して自分事として捉えるようになってきた。



③ 「主な学習活動時⑥～⑦まで」の1人1台端末の利活用

新聞記事を書く際に、どのような形で書き進めたらよいか分からない児童もいる。予め、教師が例を示したり、友達が書いた新聞記事を参考にさせたりすることで困り感を解消しながら書かせる必要があった。そこで、1人1台端末を使うことで書き直しが何度もできるというメリットを理解させた上で、「まずは書いてみる」という姿勢を身に付けることに意識を向かわせた。子どもは「やり直しができるなら書きやすいよね。」「とりあえず書いてみよう。」という前向きな姿勢で書き始めることができた。

ロイロノートの提出箱、共有の機能を使うことで、よりよい新聞記事にするために友達同士

でアドバイスしたり、そのアドバイスを受け入れて書き直したりする協働的な学びが充実した。また、教師は提出されたカードに対して個別のアドバイスを行うことで、これまでの校正作業よりも十分な時間を確保でき、完成度を高める支援につなげることができた。



- 改善点
- ・文章の書き始めは、1マス空けるようになった。
 - ・見出しの大きさを調整して、見やすくした。
 - ・どのようなアンケートをしたのかが分かるようにした。
 - ・文の末尾が凸凹にならないように直した。
 - ・文章にあった写真を入れることで遠足の様子がより伝わるようにした。

(3) 実践を振り返って

① 学びの質の向上と学習活動の効率化

手書きによる新聞の作成を1人1台端末による新聞の作成に置き換えることで、次のような学びの質の向上の実現と学習活動の効率化につながったと考えられる。

- 学びの質の向上
- ・シンキングツールを利用することで、自分の考えの整理、分析等を行いやすい。
 - ・アンケート結果を生かし、実態に応じた資料の取捨選択ができる。
 - ・書くことが苦手な児童にも「まずは書いてみる」という姿勢を身に付けさせることができる。
 - ・書き直しが何度もできる。
 - ・漢字を使っての表現、助詞の使い方が間違っている場合は部分的に修正しやすく、敬体の統一などの確認にも生かすことができる。(手書きの場合は修正箇所だけでなく広い範囲を消したり、書き直したりさせなければならないが、その必要がなくなる。)

- 学習活動の効率化
- ・教材の配付、一斉アンケートの実施がスムーズである。
 - ・アンケート結果が即時に分かる。
 - ・ワークシート、新聞を回収したり、再度配付したりする手間が省ける。
 - ・上書き、修正が手軽に行える。
 - ・ワークシートを見せ合ったり、アドバイスをもらったりすることによる移動の手間がなくなり、机上で行うことができる。

② 学びの意欲の向上（アンケート含む）

本単元を学習した小学校4年生を対象として、以下のようなアンケートを行った。

ア) 国語や算数などの書く学習において、自分の考えを書くこと（手書き）は好きですか。	好き	きらいである
	53.3%	46.7%
イ) 国語や算数などの書く学習において、自分の考えを書き直すのにていこうはありますか。	ある	ない
	86.7%	13.3%
ウ) 国語や算数などの書く学習において、パソコンを使った授業は楽しかったですか。	楽しかった	楽しくない。
	96.7%	3.3%
エ) パソコンを使った授業で、自分の考えを書き直すのにべんりですか。【例：ロイロノートのカード機能】	べんりである。	べんりでない。
	93.3%	6.7%
オ) パソコンを使った授業で、他の人の考えを知ることには自分の考えを書くときに役立ちますか。 【例：ロイロノートの提出箱の共有】	役立つ。	役立たない。
	100%	—
カ) 国語や算数などの書く学習において、パソコンで文を書くことは好きですか。	好き	きらいである
	76.7%	23.3%
キ) これからの書く活動で、作文を書いたり、詩を書いたりするときに、あなたはどちらの方法がよいですか。	手書きをする。	パソコンを使う。
	10%	90%

「質問キ」で「手書きをする」を選択した児童の理由

- ・ 作文は原稿用紙に書いたほうが良いと思うから。
- ・ 手書きをしたほうが、相手に気持ちが伝わるから。
- ・ パソコンは使いすぎると、目が悪くなったりするから。

「質問キ」で「パソコンを使う」を選択した児童の理由

- ・ 間違えたところだけ消せるから。
- ・ 手書きだと、長い文章を書いて間違えたら、消すのに時間がかかるから。パソコンなら、消すのも簡単だから。
- ・ 手書きだったら1文字間違えたらその後の文章を消してもう一度書かないといけないが、パソコンなら矢印キーを押せば簡単に消せるから早く終わらせる事ができて、違うことなどを早く始めることができるから。
- ・ 文章の書き直しがすぐできるし、便利だから。

③ 学習の成果物

児童が作成した新聞は、授業参観の際に掲示した。



④ 課題

本単元の実践において、ロイロノートや Forms 等のアプリケーションを活用して新聞記事の作成を行った。しかし、ロイロノートのカード機能を用いる際に、アプリケーションの設定上、入力した文字数によってはフォントがばらばらになってしまうので読み手としては読みづらかった。また、会話文の表記のきまりを理解しているにも関わらずに、アプリケーションの設定により改行して正しく表記することができなかった場面があった。

1人1台端末を授業で活用するためには、教師がICTを利用して、どのような授業を行いたいかを明確にする必要がある。そして、その活動には、どのようなアプリケーションが必要かを吟味し、子どもに提示する必要がある。しかし、子どもの情報スキルは一日で飛躍的に向上するものではないため、日常的に端末を利用することに加え、段階的な指導が求められる。